富士市議会議員 太田やすひこ 議会レポート
平成 25 年 No.13-01

課題山積の建設水道委員会

平成２５年６月定例会の最終日は、正副議長の選挙と同時に、常任委員会の正副委員長、特別委員会の正副委員長が決まります。

私は、建設水道委員会委員長に就任致しました。この委員会の主な所管事項は、建設部、都市整備部、上下水道部の事業になります。

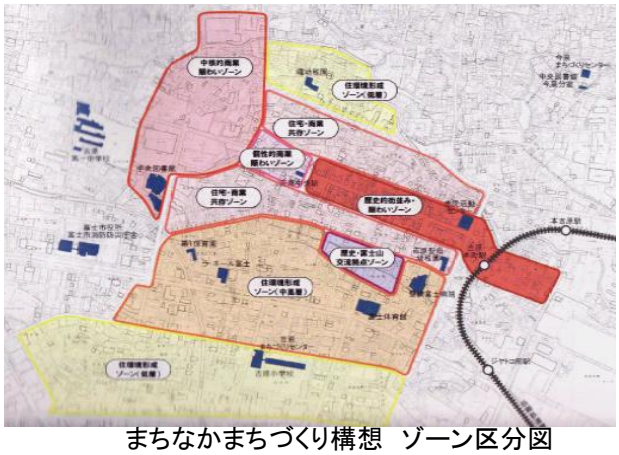
議員は任期４年の間に、４つの常任委員会を１年ずつ経験することになります。

都市整備部の大きな事業は、「都市計画マスタープラン」の策定です。都市計画マスタープランは、都市計画法に基づいて、市町が定める計画で、富士市では平成 16 年に策定していますが、富士川町との合併、第５次総合計画、国土利用計画の改訂等、さらには社会、経済の情勢の変化を盛り込み、今回 10 年目の改定となります。

平成 23 年度に全体構想骨子、平成 24 年度からは、地域別構想には市内６ブロック、「まちなか」まちづくり構想には富士地区、吉原地区と市民、事業者が参画して作成してきました。

本年度、実現化方策が作成され、12 月からの１ヶ月間、パブリックコメントの募集を経て、来年２月、都市計画審議会に付議されます。

公共交通に関する取り組みも大きな課題の１つです。昨年度から３年間にわたり、岳南鉄道に対し、年間６，５００万円の支援が決定していますが、平成２５年度末には、公的支援の成果と岳南鉄道の努力の検証が待っています。



まちなかまちづくり構想　ゾーン区分図

また、市の東西を結ぶ公共交通の基軸として、ＤＭＶ導入検討が進められてきましたが、開発主体であるＪＲ北海道の事故多発と相次ぐ問題の顕在化により、見通しがつかない状況にあります。公共交通政策は将来の都市の形に関わる最重要課題の１つです。

下水道の料金改定も建設水道委員会に付託されます。本年９月２日に、「富士市下水道使用料金等審議会」から使用料改定の答申書が出されました。答申に示された改定案は、基本料金を現行1,000円から1,300円（共に消費税別）とし、平均改定率は 17.66％の上げ幅となります。この改定により、年間４億１千万円の増収が見込まれています。改定案は、富士市議会 11 月定例会に上程され、議決を経て、平成 26 年４月から新料金への移行となります。

東部浄化センター概観

太田やすひこホームページ　アドレス　http://web.thn.jp/ootayasuhiko/

発　　行：太田やすひこ後援会
　　会長　諸星　秀一
住　　所：富士市錦町１丁目９番５号
　　（TEL）0545-53-2148

富士市議会議員　太田康彦
所属委員会　建設水道委員会　委員長
　　地震防災対策特別委員会　委員
　　議会改革検討委員会　委員